

平成 13 年 10 月 1 日

各 位

三菱信託銀行株式会社

合併のお知らせ

本日、三菱信託銀行株式会社 (取締役社長 うみ あきお 内海暎郎) は、日本信託銀行株式会社および東京信託銀行株式会社と合併し、新たな三菱信託銀行株式会社として、スタートしましたのでお知らせいたします。

なお、本今朝開催された、合併記念式における社長挨拶の要旨を、別紙のとおりご案内申し上げます。

以 上

< この件に関するお問い合わせ先 >

三菱信託銀行 経営企画部広報室

宮腰 または 中元

03 - 3519 - 3071

合併記念式社長挨拶（要旨）

三菱信託銀行・日本信託銀行・東京信託銀行は、本日、無事、合併を完了しました。

3信託は、歴史は異なるものの、これまで信託銀行としての機能を通じて社会に貢献し、時代の要請に応えてきました。

一方、最近の信託銀行のビジネスは、年金制度の大規模な改革や時価会計導入を始めとした構造変化への対応がお取り引き先の喫緊の経営課題として浮上し、また、ソリューションを提供する信託銀行の新たな機能が、一層注目されているところです。

このような重要な変革期に、MTFGグループにおける信託銀行業務が三菱信託銀行に一元化されることは、大変意義あるものです。

当社は「信託銀行の機能を通じて社会に貢献し、『真に顧客に役立ち、信頼される銀行になる』ことを目指す」という経営理念を掲げておりますが、これからは、社会に貢献できない企業は生き残れないという競争環境を厳しく受け止め、合併により更にパワーアップした信託機能を通じて、こうした社会の要請に応えて参りたいと思います。

合併後の新たな経営方針は、「信託ビジネスで 1 のリーディングトラストバンクの確立」がメインテーマです。

東京三菱銀行との協働体制をフルに活かしながら、ライバルを凌駕し、「信託ビジネスで圧倒的な 1 」を目指すとともに、当社独自のビジネスモデルである「Trust&Trust-Banking」を基本に、MTFGの中核を担う「21世紀のリーディングトラストバンク」を確立していく方針であります。

また、企業風土の異なる3信託の合併は、よりチャレンジングな企業風土に変革していく格好のチャンスでもあります。何れの過去にも拘らないベストプラクティスが今日からの三菱信託スタンダードであるとの考え方を共有し、これから始まる新たなステージで、“フレッシュな気持ち”と“熱い思い”を持って、それぞれの目標に主体的に取り組んでいただきたいと思います。

金融機関を取り巻く経営環境は引き続き大変厳しい状況にありますが、この合併を機に、「新しい三菱信託銀行が持つ多岐にわたる可能性」を実現しながら、パートナーの東京三菱銀行とともに、顧客から第一に選ばれる金融グループを確立していきたいと思っております。

「信託ビジネスで 1 のリーディングトラストバンク」であり続けるよう、役職員一丸となって、時代が求めるトップクラスの「信託銀行ビジネス」を創造し、顧客やマーケットの期待に応えていくという経営方針をお伝えして、合併にあたっての挨拶とします。

以上